

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	花島 好美	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4059		事務事業名称	市民文化振興事業					短縮コード	経常	4059	臨時	4060
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	08	生涯学習振興費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市補助金等交付規則							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
経済の高度成長期を経て、市民の生活や価値観が物質的充足度から精神的充足度へと変化していった。それらを背景に文化への関心が高まったことから市民文化祭を昭和47年より、文化団体の活動支援・育成を昭和49度より実施している。 また、昭和48年8月に市民会館、昭和56年6月に八千代台文化センター、昭和62年6月に勝田台文化センターがそれぞれ開設され、文化活動の拠点が整備されたのを機に、市民の文化芸術活動が活発に展開されるようになった。また、昭和55年に市内在住のプロの芸術家たちによる八千代市芸術文化協会の設立も文化芸術の振興に大きく寄与したと考えられる。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして						
文化団体や公民館サークルにおける文化活動は、財政状況の低迷にもかかわらず益々盛んになっている。そして今日においては、少子高齢化社会・団塊世代の大量退職の時代を迎え、文化活動は市民生活の心のよりどころとしてより一層求められており、青少年の心の発達のためにも、文化施策のさらなる推進が必要であるといえる。また、平成13年に国が「文化芸術振興基本法」を制定し、平成14年に「第1次文化芸術の振興に関する基本的な方針」、平成19年に「第2次文化芸術の振興に関する基本的な方針」を策定した。この中には、地方公共団体の文化芸術の振興に関する責務が明記されている。 市民は単に鑑賞するだけではなく、自らが発表する機会と場の提供を望んでいる。今後、このような市民の文化芸術に対する機運の盛り上がりを考慮しながら、事務事業の推進を図っていくことが必要であると考えられる。					大項目（節）	05	文化						
					中 項 目	01	市民文化						
					小項目（施策）	01	文化活動の推進						
					細 項 目	01	芸術・文化団体、グループの育成						
02	文化活動の機会の充実												
実施計画の計画事業	2501	文化芸術の振興に関する基本方針等作成事業											
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民・文化団体（文化活動を行う団体）、補助金交付先：八千代菊花会、八千代市俳句連盟、八千代市短歌会、八千代市郷土歴史研究会、八千代市囲碁将棋連合会、八千代市美術アカデミー、八千代交響楽団、八千代市三曲協会 八千代市合唱協会、八千代市茶道連盟、八千代華道連盟、八千代市人形劇協会、八千代管楽オーケストラ、(特)子どもネット八千代、八千代市謡曲連合会、八千代市民川柳連盟、文化・スポーツ振興財団							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成19年度に実際に行ったこと： 1)市民文化祭の開催 計33部門 文化祭ポスター(デザイン画)を公募し、市民デザインのポスターを作成した。また、文化祭実行委員会の設立、広報活動、会場確保、会場設営等を行った。 2)文化団体の活動支援・育成。 3)芸術文化協会への支援。 4)書道展、收藏美術品展の開催等 5)県民の日記念行事の開催 6)八千代市文化・スポーツ振興財団との共催による市制施行40周年記念事業の開催（八千代蠟燭能） 7)国の文化助成金による団体との共催、子どもを対象とした文化体験事業の開催							
	※平成20年度に計画していること： 文化施設の指定管理者である財団法人八千代市文化・スポーツ振興財団に文化振興事業業務を委託する。 收藏美術品展業務、県民の日記念行事第27回合同発表会人形劇まつり業務、市民文化祭「市民美術展」「手工芸展」業務、第15回新春八千代市書道会展業務							
意図 （何を狙っているのか）	市民が文化芸術に触れる機会を増やすことで文化芸術に対する関心を高めるとともに、市民の自主的な文化活動を促進する。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	1 8 年 度	1 9 年 度		2 0 年 度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	市人口（3月末現在）	人	186,650	189,000	188,624	191,000	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	市民文化祭の参加者数	人	9,719	10,000	10,325	11,000	
	指標 2	市民文化祭の参観者数	人	38,219	40,000	40,824	42,000	
	指標 3	写生会・美術展・書道会展の観覧者数	人	1,470	1,600	1,808	2,000	
成果指標	指標 1	市民文化祭への参加率（参加者数／市人口）	%	5.2	5.3	5.5	5.8	
	指標 2	市民文化祭への参観率（参観者数／市人口）	%	20.5	21.4	21.6	22.1	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード		4059		事務事業名称		市民文化振興事業		所属名		文化・スポーツ課	
				単位	1 8 年度	1 9 年度			2 0 年度		
					実績	計画	実績		計画		
事業費 (A)	財源内訳	国		千円							
		県		千円							
		地方債		千円							
		一般財源		千円	3, 505	3, 749	4, 027	2, 569			
		その他		千円							
	主な事業費の内訳			市民文化祭費522千円 文化団体補助金855千円 八千代市芸術文化協会に対する 助成等351千円 書道展61千円 美術品保険1, 480千円 市制施行40周年記念事業236千 円	市民文化祭費763千円 文化団体補助金825千円 書道展123千円 美術品保険1, 542千円	市民文化祭費728千円 文化団体補助金825千円 書道展140千円 美術品保険1, 543千円		市民文化祭費167千円 文化団体補助金550千円 美術品保険1, 541千円			
	人件費 (B)			千円	44, 299. 1	39, 141	26, 729	23, 919. 5			
ト ー タ ル コ ス ト (A) + (B)				千円	47, 804. 1	42, 890	30, 756	26, 488. 5			

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由						
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		市民文化の向上は、豊かで彩りのある市民生活を創造し感性の豊かさを実感できる精神性を有するもので、文化活動の推進につながる。						
			☐ 結び付くが見直しの余地がある								
			☐ 結びつきが弱い・ない								
			☐ 評価対象外事項								
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		市民主体の文化活動がさらに活発になり、市の文化水準が向上するとともに、今後も自主的文化創造の場のさらなる充実と多種多様な支援が望まれる。						
			☒ 達成していない								
			☐ 評価対象外事項								
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		各種の文化活動・イベント等を実施・提供し、市民文化を向上させることは利益追求が第一目標の民営化に馴染まない。						
			☒ 可能性はない								
			☐ 評価対象外事項								
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。						
			☐ 見直す必要がある								
			☐ 評価対象外事項								
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある								
			☐ 効率性向上の可能性はある								
			☒ 両方可能性がある								
			☐ 可能性がない								
		⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		・文化団体の自立 ・収蔵美術品の有効活用						
			☐ 臨時的任用職員等の活用								
			☐ ＩＴ化等業務プロセスの見直し								
			☐ 受益者負担の見直し								
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1			実施主体 (所管部署)		
			☒ 上記以外の方法				2			実施主体 (所管部署)	
			⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		・文化団体の理解と協力が不可欠であるが、その話し合いの時間と機会が不足している。				
	☐ ない										

コード	4059	事務事業名称	市民文化振興事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			・文化芸術情報だけでなく、団体が自立・運営できる方法や情報の提供、国・県・民間の助成金等の案内や一連の事務処理等の支援を行う。 ・美術品の再鑑定と適切な動産保険の予算措置を行う。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
	☐ 廃止							
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			国の助成金の活用、情報や会場の提供といったサポートにより、実現可能と考えられるが、適切な人員配置は必要である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
・既存の施設の設備や利用方法の改善 ・国の助成事業の共催 ・NHK等の人気文化事業の招聘 ・青少年の文化体験事業の増加 ・市内の文化団体の把握を踏まえたネットワーク作り ・文化芸術振興基本条例の制定 ・美術館と収蔵庫の建設 ・他市町村の文化施設との連携									

所属長コメント	当該事業は、19年度に策定いたしました八千代市文化芸術の振興に関する基本方針に基づき、市民の文化芸術の振興に努めていきたい。また、市民文化団体が積極的に文化芸術活動を行うことができる環境の整備を図っていきたい。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			課題解決に努め、具体的な手段を検討し、改革・改善を推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									